

## 【経営の概要】

- 従業員：11名。酪農とちぎ農業協同組合の100%子会社。酪農とちぎ農業協同組合の所有農地：約89haを管理
- 事業は、乳牛の預託牧場運営、近隣酪農家からのデントコーンの収穫受託、デントコーンロールや稲わらロールの販売など

## ①飼料生産の概要

- 主な飼料作物の栽培・収集面積  
自作地 約35ha  
デントコーン・ソルゴ混播 約7ha  
イソアブ・オチャド混播 約15ha  
イソアブ・デントコーン連作 約13ha  
期間借地  
(麦あと) デントコーン 約18ha  
作業受託(収穫)  
デントコーン 約500ha  
堆肥交換(耕種農家10戸)  
稲わら収集 約25ha
- 飼料提供先  
デントコーン 21戸  
(約1,000ロール)  
稲わら 1戸 (約600ロール)

## ②飼料生産の現状と今後の展望等

- 飼料生産に取り組み始めた経緯  
平成13年、県内に10あった酪農農協のうち6農協が合併して酪農とちぎ農業協同組合が誕生。預託牧場運営と自給飼料生産を行う(株)酪農とちぎアグリサポートが設立された。その後、近隣の酪農家からデントコーンの作業受託(収穫)を受けるようになり、平成24年からデントコーンロールの販売を開始。作業受託面積は年々拡大している。  
乳牛の預託は、昨今の酪農経営の不振の影響で、現在は480頭。
- 飼料生産の現状  
牧草(約1,500ロール)及びデントコーン・ソルゴ混播(約730ロール)は預託牧場で使用。デントコーンは、期間借地の農地での生産と近隣農家からの収穫作業受託分(約500ロール)を合わせ、約1,000ロールを販売。  
デントコーン収量は、10a当たり7ロール前後(500kg/ロール)。  
稲わらは、近隣の10戸の耕種農家から堆肥交換により約600ロールを収集し、茨城県の畜産農家に販売。  
預託牧場の堆肥は、自作地約35haと稲わら収集の約25haに加え、期間借地の農地のうち農家が希望する半分ほどの面積(約9ha)に、当社の社員が当社の機械で散布。
- 今後の展望  
預託の受入可能頭数は580頭で、約100頭の受け入れが可能。要望があれば増やしたい。  
近隣からの作業の委託希望が年々増加している。できるだけ近い場所で可能な限り受け入れ、さらに飼料の販売数量を増やしていきたい。

## ③人材確保や機械の活用に関する取組や課題

社員や機械を増やせれば受託等の拡大も可能にはなるが、現状では難しい。人材や機械の共有や融通については、今まで考えたことがないのでイメージができないが、具体的な提案などがあればぜひ前向きに考えてみたいと思う。  
細断収穫機は、かなりの頻度で詰まったり壊れたりする。償却期間に満たずに使えなくなることも多いので困っている。

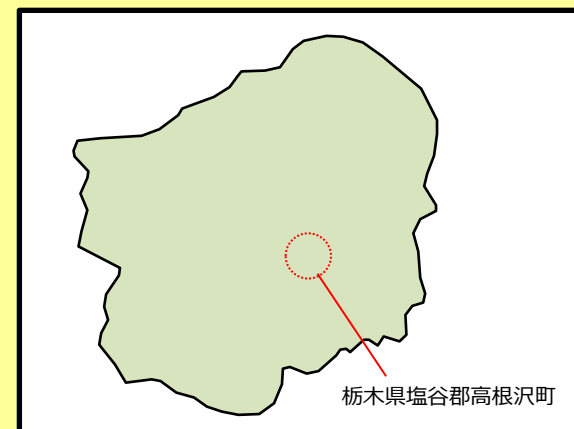
## ④取組内容



事務所は酪農とちぎ農業協同組合事務所に隣接



事務所向かいに置かれたローラー



栃木県塩谷郡高根沢町



敷地が広大で施設内移動でも大型機械が必要



デントコーンの収穫作業



ラッピングロールを積み込むローダー